



代田・九条の会 憲法記念日によせて 「お話と歌のつどい」

5月3日は憲法が施行された記念の日です。
核密約問題や、沖縄の基地移転問題や、自民党離党組の動きなどが気になります。
代田・九条の会では、今年もつどいを開催します。

***嬉野 京子さん (ジャーナリスト・報道写真家)**

1960年代からの沖縄の映像を紹介し、「沖縄に心をつないで40数年」と題して、お話をさせていただきます。

***陳 曦 (チェン・シー) さん (メゾソプラノ歌手)**

1992年に中国から来日して以来、幅広い活動をされています。カザルスの「鳥の歌」などをピアノの伴奏でうたっていただきます。

日時 : 5月8日(土) 13:30~16:00

場所 : 東京都民教会 礼拝堂 (代田5丁目)

参加費 : 500円

お誘いあわせて、ぜひ、ご参加ください。

「朗読劇 月光の夏」にかける思い

今年も戦後65年目の夏がやって来ます。

政治経済にとどまらず、日本の歴史を大きく変えた八月十五日。戦後民主主義の教育を受けた世代も定年退職する時代。物資的に豊かになったということとは裏腹に、今生きている私たちは、年とともに歴史に対して鈍感になってはいやしないだろうか、

劇団東演は2003年から毎年「朗読劇 月光の夏」を上演。日本の夏を語り継ぐ企画として、今年も8月にタウンホールで公演します。

その中の台詞に「日本は戦争責任を曖昧にしてきたところがあります。だから軍国主義の根っこが、どこかに尾てい骨のように残っている…。あの戦争の犠牲を忘れ、今の平和のありがたさが忘れられたとき、うっかりすると、古い根っこが芽をふく…。」

あの戦争で何があったかということ、語り伝え続けなければならないと思っています。

ぜひ今年も観にいらしてください。

(横川功 代田1丁目・劇団東演)

自民党離党組の「理念」とは？

平沼氏と与謝野氏 新党へ詰めめの協議

憲法改正など理念に

平沼勉元経済産業相は5日午前、与謝野馨元財務相らと結成する新党について「私は代表になる。与謝野氏は代表格で行動してもらいたい」と記者団に語った。そのうえで、将来的に憲法改正や集団的自衛権行使なども新党の理念として検討する考えを強調

した。平沼氏と与謝野氏らは同日夕、新党結成に向け最終的な協議を行う予定。与謝野氏は5日、自民党の青木幹雄前参院議員会長、中曽根康弘元首相、渡辺恒雄読売新聞グループ本社会長・主筆を訪ね、新党構想を説明した。同日夕の協議には自民党

の藤井孝男元運輸相や園田博之前幹事長代理も参加する予定で、園田氏はその前に離党届を提出する見通し。鳩山邦夫元総務相の参加については、平沼氏は5日、「考えていないが、会いたいというので考え方を聞く」とした。また、自民党幹部は5日、同党の鴻池祥肇元防災担当も「新党に入る」と語った。夏の参院選の候補者としては橋本大二郎・前高知県知事が浮上。中山成彬元国土交通相も4日、朝日新聞の取材に「平沼新党から出馬の意思はある」と述べた。

朝日新聞 4月5日付夕刊

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

九条の会・関東ブロック交流集会に参加して

4月4日、正則高校（港区芝公園）で開催された、関東地区の九条の会の交流集会に参加した。従来は、全国規模での交流集会が開かれてきたが、活動の交流の密度を高めようということで、ブロックに分けて開催されることになった。全体会の始まる前には、九条かながわの会の人々がトランペットを演奏し、会場の雰囲気を和らげるとともに、集中させてくれた。

参加者は、400名以上で、会場の体育館は関東の各地からの参加者でほぼ満員。

正則高校の校長が挨拶をされた。高校の職員で作る九条の会がある、ということで、会場の設営などにも協力をしてくれていたようだったし、また教育目標に「憲法を精神を生かす」内容が盛り込まれていることや、九州への「学習旅行」で長崎・原爆や熊本・水俣病など、九州各地での現地学習を取りいれている、など紹介された。

各都県からの報告に続いて、短歌を作る歌人で結成されている「憲法九条をまもる歌人の会」の活動報告や、大学生から「Peace Night 9」の取り組み、高校生から「平和ゼミナール」の取り組みなどが報告された。

九条の会・事務局長の小森陽一さんは、全体的な情勢を紹介するとともに、故・加藤周一さんの言葉をいくつか紹介された。2004年の読売世論調査で改憲賛成が60%程度であった時には「今こそ運動を起こさなくてはならない」とアピールを出されたこと。2007年の学生との対話では「学生と年寄りが、連帯できるのだ」と話されたこと、また、九条の会の活動が大きな成果を上げては来ているが、今後は憲法を「守る」だけでなく「活かす」という活動が大事だと強調されたのが印象に残った。「派遣村」などにみられる生活をまもる（25条）、教育基本法の改悪、など運動の幅を広げていくことが大事だな、と感じた。

午後は11の分散会と2つの分科会に分かれての交流。各分散会は約40人くらいで、経験を報告し合った。大きい会も小さい会もそれぞれ、独自性を持って活動をしている印象を受けた。

ユニークな活動として、横須賀市民九条の会が、「憲法を変えないでください」という内容で、国会請願活動を行っている紹介があった。もう5回くらいになるということ。また、教育子育て九条の会では、9条+25条+26条ということで活動を進めているとのこと。（伊東宏 代田2丁目）

集会等の紹介

5月3日（月・憲法記念日） 13:30～

5・3 憲法集会 & 1万人銀座パレード（出発：15:30）

市原悦子（語りと朗読）田中優子・伊藤真・福島みずほ・市田忠義（スピーチ）

会場：日比谷公会堂（第2会場あり）

呼びかけ：2010年5・3憲法集会実行委員会

6月13日（日） 代田・九条の会 見学会

陸上自衛隊・広報センター（りっくんランド） 練馬区大泉学園町

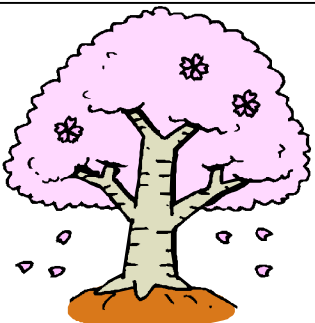
詳しくは追って、お知らせします。

6月19日（土） 13:30～ 九条の会講演会

講演 大江健三郎・奥平康弘・澤地久枝・鶴見俊輔 氏

会場：日比谷公会堂 参加費：前売り1000円 当日1500円

連絡先：九条の会事務局 Tel 3221-5075 Mail: mail@9jounokai.jp



お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

日本国憲法

- 第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない